

② 避難所の生活では 何ができますか？

つかむ



資料編
50,75,76ページを
見てみよう

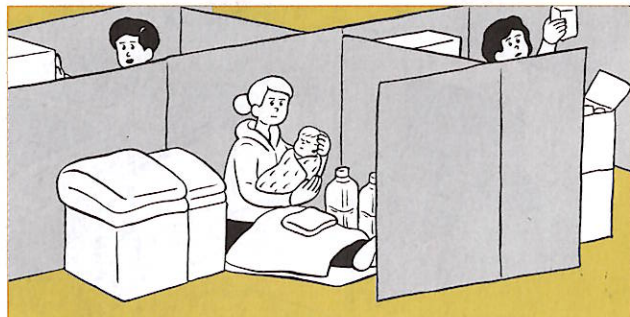


東京防災
56~67ページを
見てみよう



避難所とは

避難所は、自宅に居住できなくなった人を、一時的に受け入れ保護するための場所です。
東京都では、学校や公民館など公共施設が避難所になります。



被災者の
声に学ぶ

子供が元気になれば大人も元気になる

東田せつこさん(神戸市在住/被災当時 58歳)

自宅は倒壊せずに、そこで過ごすことができましたので、避難所での生活支援を行いました。
避難所には、幼稚園から小学校の子供が20～30人程度いて、しばらく親のもとでじっとして
いましたが、そのうち走りまわようになり、大人からうるさいとしかられるような状態でした。
被災三日目、先生が子供の安否確認に来て、学校で子供たちを遊ばせるようになりました。
1～2時間学校に行って戻ってくると、子供たちが明るくなっています。そのうち5～6年生
の子供たちが来訪者の名前を聞いたり、弁当などを配るようになりました。子供が自ら役割を
見付け、人のために働き、生き生きとなることで、大人も元気をもらいました。
ただ、子供の心のケアは必要です。身近な大人と一緒にいて、子供の言うことをきちんと
理解すると、子供は心を落ち着かせます。震災発生時に子供が生き残るには、親と子供が「自分
の身は自分で守る」と約束することが大切なのです。

防災ブック「東京防災」74ページより作成

しら 調べる

避難所の生活と、普段の自宅での生活との
ちがいは、何ですか？



まとめる

みんなで協力して避難所の生活を過ごすなかで、
あなたができることは、どのようなことですか？

わが家の 防災 アクション

避難所で生活することになったときを考え、日頃から何をしますか？

あなたの防災アクション

避難所でできることを考え、家族で話し合います。

保護者
確認日

(月 日)

非常用持ち出し袋を確認します。

(月 日)

(月 日)

保護者の防災アクション

